

土砂災害防止法について

福岡県では、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、**危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。**

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

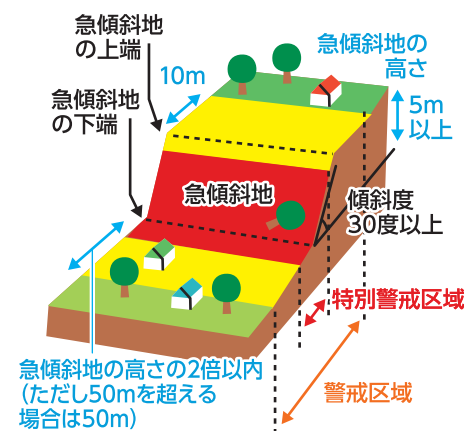
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、**特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。**

※指定区域の詳細内容については、福岡県ホームページまたは添田町役場でご確認ください。

土砂災害の種類とその前兆現象

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

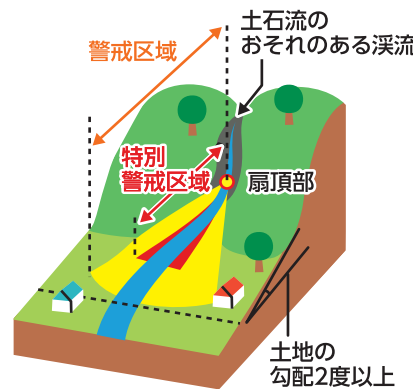


前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

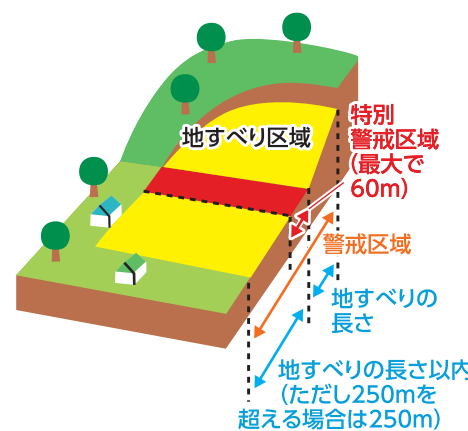


前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。

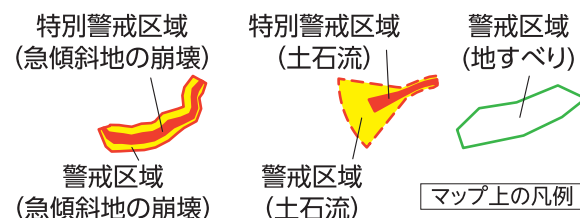


前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

土砂災害警戒区域等

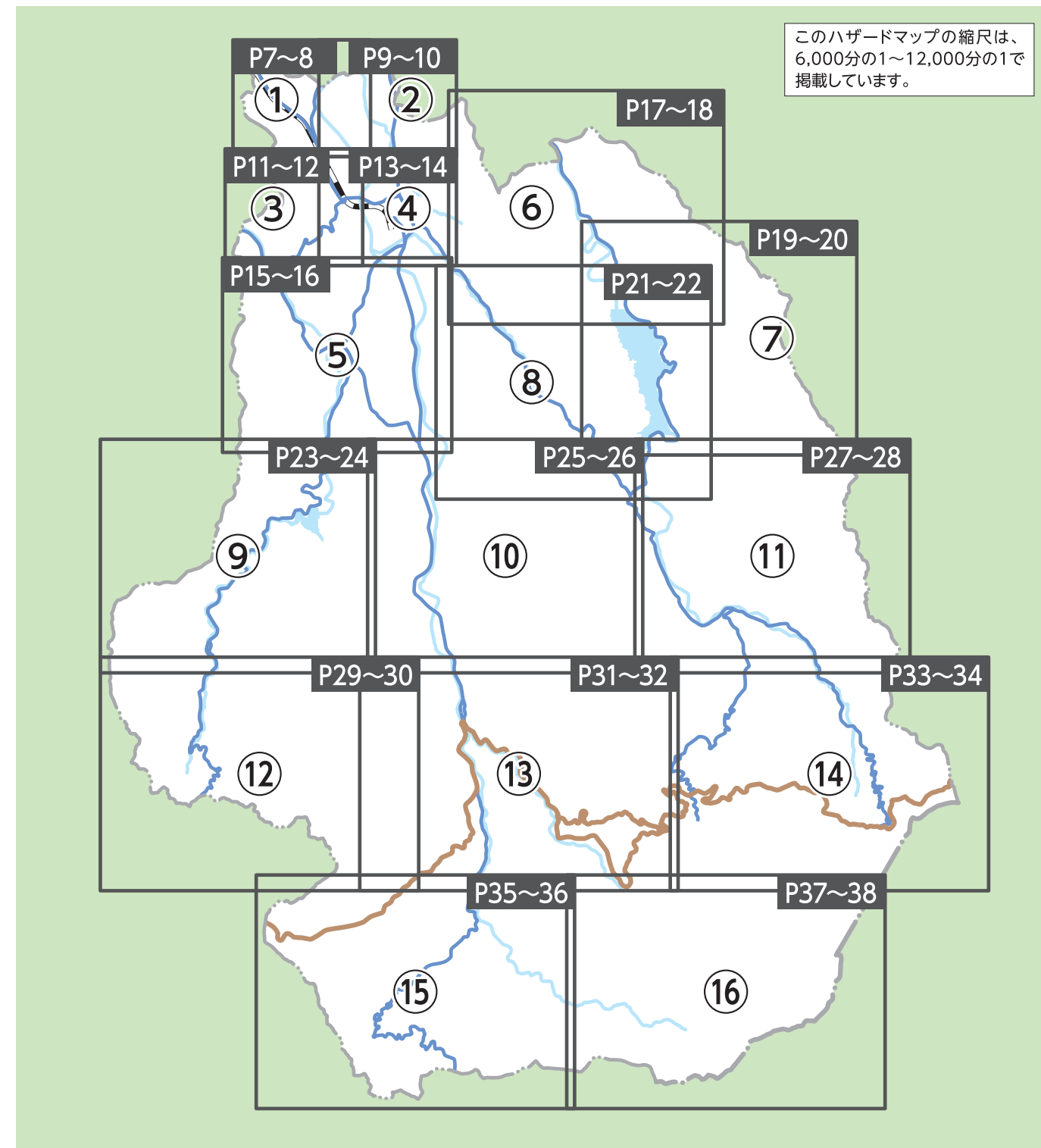
福岡県が令和7年2月現在で告示している、「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を洪水・土砂災害ハザードマップに示しています。福岡県では、土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所を公表しています。



福岡県
砂防課



洪水・土砂災害ハザードマップ索引図



ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、町内の防災重点農業用ため池が地震などで決壊した場合の「浸水する範囲（浸水域）」と「浸水する深さ（浸水深）」を示しています。洪水・土砂災害ハザードマップとあわせてため池ハザードマップも確認してください。

添田町
役場

